

去る3月18日、年長組の子どもたちは、幼稚園での思い出を胸に新たな一步を踏み出しました。卒園の前日まで元気いっぱいの笑顔で園庭を駆け回ったり、逆上がりに挑戦したり、また、バスから降りる際、在園児のことを気にかけてくれた子どもたち。卒園式当日も普段通りに過ごす姿に、まさに「行事は日常の延長である」ということを実感したものです。「やればできる」「最後まであきらめない」「自分の役割を意識する」・・・これは、卒園式で年長児が、「お別れのことば」として私たちに伝えてくれたメッセージですが、日々の園生活の中で体験を通して実感したこれらの言葉はとても重みがあり、私たちの心に響くものとなりました。年長組の子どもたちには、これからも一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。

そして、年中組以下の子どもたちは、いよいよ一つ上の学年へ進級します。「〇〇色の帽子がいい。」という期待とともにちょっぴり不安もあることでしょう。でも、困ったときには近くの人（大人・友だち）に伝えることで誰かが助けてくれることを子どもたちと再確認し、一人ひとりがそれぞれのペースで新しい環境に慣れ、園生活を楽しむことができますよう、全職員で子どもたちを支えてまいりたいと思っています。

今年度の保護者の皆様のご協力に感謝いたします。次年度もよろしくお願い申し上げます。気になることがありましたら、いつでもお声掛けください。

学校法人

絵本化プロジェクト第1号完成

オリジナル絵本ストーリー募集で、「ハートフル賞」を受賞した「いろんなありがとう」が完成。現在、2冊目の創刊に向けて準備中です。皆様のご応募をお待ちしております。



みんなで安全な生活のための見直しを!!

園では、ルールには①命を守るためのルール②楽しく遊ぶためのルールがあると子どもたちと確認しながら過ごしています。毎月の成長計画案でもお知らせしていますが、週末には、お子様の爪が安全に楽しく遊べる状態であるのかどうかをお子様と話し合っていたいただければと思います。その際は、日ごろからお伝えしているように「なぜ、それが必要なのか」も併せてお伝えくださると助かります。

園とご家庭とでより良い生活に向けて取り組んでまいりましょう。

つなぐ思い

深まる絆



毎年受け継がれていく「ドッジボール」

写真を観ながら卒園生に思いを馳せる子ども達

手伝ってあげるよ

クロワッサン保育園



年長組のひな人形制作を見学するたんぽぽ組。
「ねんちょうさん、すごいな!!」



ありがとうの気持ちを込めて「プレゼント渡し」



クラスのお友だちとの「イス取りゲーム」では座れなくても友だちを応援する姿がたくさん見られるようになった 年少組

【編集後記】3月22日。熊本地方の桜の開花が報じられました。折しもその日はWBCで日本が14年ぶりに世界一となった日。テレビ画面に映る選手の口からは、先日卒園した年長組のお別れメッセージと重なる言葉がたくさん聞かれ、改めて卒園生の皆さんが「すばらしいチーム」の一員として園生活を過ごしていたことを実感した次第です。そして、そんなみなさんとともに、私たちも生活することができたことは、何より幸せなことでした。これからもそれぞれが自分の役割を果たしながら、互いを認め合い、信じ合える関係作りをみんなで続けていきたいと思っています。明日から新年度。以前お伝えしましたように「自転車のヘルメット着用努力義務化」スタートです。命を守るためみんなで取り組みましょう。子育て支援：北村